

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2392600116
事業所名	グループホーム喜ら里

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	5月のコロナの感染症5類移行に伴い、地域の行事にも再開が見られ、ホームもできる事から参加に努めている。レクリエーションボランティアの受け入れ、ホーム行事へのお誘いも進み、コロナ禍以前の様子を徐々に取り戻している感がある。ホームのピザ窯、五平餅作りなど、好評を得ている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	コロナ感染状況によっては書面開催も考えるが、原則対面で会議を開催している。利用者家族、地域包括支援センター、地域代表等、全メンバーが揃えばにぎやかな意見交換の場となっている。ホームの運営報告を基に、様々な意見や提案を聞き取る機会となっている。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	行政の担当部署とは、ホーム運営に関する相談・報告を通じて適切に連携している。地域包括支援センターが運営推進会議に参加することで、地域の情報を知ることができ、協働できることは連携を図っている。ホームの実情を理解していただいたうえで、利用者紹介に至った例もある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	利用者家族とは良好な関係構築があり、忌憚のない意見聴取が可能な環境にある。面会時等の話しができる機会に、直接聞き取り、ホーム運営や支援内容に反映させている。希望や意向が出しやすいように、情報提供を欠かさず、SNSを活用したリアルタイムの画像や動画、コメント送信は家族に好評を得ている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【備考欄】

コロナ感染の状況を見ながら開催方法を決定している。今年度は全て対面で実施している。

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	3. 運営推進会議を活かした取組み (例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	◎	○	◎							